

ICTを効果的に活用した教材開発の例（小学校）

活用：アンケート機能を活用した実態把握

【社会的事象への関心、利用頻度、学習前の考えなどに関する実態把握（単元導入時）】

単元の導入時、または、単元導入前に、社会的事象への関心、利用頻度、学習前の考えなどに関する児童の実態について、アンケート機能を使って把握する。これにより、教材開発に関わって以下の3点が期待できる。

- (1) 即時グラフ化できることで、それを基に児童の考えを広げ、深めることができる。
- (2) 結果を基に、単元の核となる授業を選び出したり、発問を吟味したりすることができる。
- (3) 自由記述を基に、「〇年〇組調べ」といった自作資料を作成することができる。

アンケートの作成

第3学年「店ではたらく人」

自分の家に近い店の様子を思い出して答えましょう。

あなたは（あなたの家では）週に何回買い物に行きますか？ *

☐ 1回
☐ 2回
☐ 3回
☐ 4回
☐ 5回
☐ 6回
☐ 7回
☐ 分からない

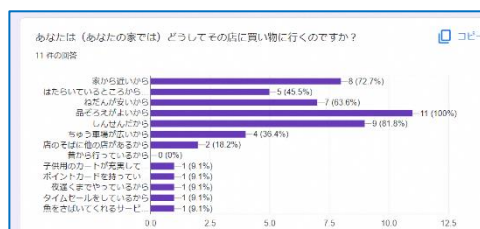
単元に関わる実態についてアンケートを活用して把握する。

結果をその場で示し、共有できる。それを基に考えを広げ、深めることができる。表し方を変えることで、自作資料として活用できる。

あなたは（あなたの家では）どの店に買い物に行きますか？ *

☐ A店
☐ B店
☐ C店
☐ D店
☐ 分からない
☐ その他...

アンケートの結果の活用



【児童の既習内容の定着状況（単元導入時）】

単元の導入時、または、既習内容の定着状況に関する児童の実態について、アンケート機能を使って把握する。これにより、教材開発に関わって以下の2点が期待できる。

- (1) アンケート機能を使って既習内容（知識）に関わる問題を出題することで、単元に関わる学習内容の定着度を把握し、単元構成や指導方法を工夫することができる。
- (2) アンケート機能を使って社会的事象等を調べ、まとめる技能に関わる問題を出題することで、単元で提示する資料について、児童の実態に合わせた難易度に設定したり、指導・援助を工夫したりすることができる。

第4学年「わたしたちの県」

これから勉強する学習の前に、前の学習の様子をふりかえっていきましょう。

地図の横にあるわくの方位を答えてください。

10/10

☐ 北
☐ 南
☒ 東
☐ 西

単元に関わる実態（知識及び技能の定着状況）について、アンケート機能でテストを作成して把握する。

即時評価

第4学年「わたしたちの県」

これから勉強する学習の前に、前の学習の様子をふりかえっていきましょう。

地図の横にあるわくの方位を答えてください。

10/10

☐ 北
☐ 南
☒ 東
☐ 西



全体の傾向や一人一人の実態を把握することで、単元構成、一人一人に応じた指導・援助を工夫することができる。